

おおづ耕作放棄地解消活動

農委会名：大津町農業委員会

1 地域の概要

大津町は熊本市の東方約19km、阿蘇山との中間に位置しており、阿蘇外輪山西部に連なる広大な山林原野地帯と、それより続く緩やかな傾斜をなして広がる北部畑地帯、阿蘇山を源として東西に貫流する白川の豊かな流れによって形成された肥沃な水田地帯の中部平野、阿蘇外輪山南部から熊本空港へと連なる南部畑作台地から形成されている。

いずれも、地域の特性を活かした水稻、麦、甘藷、野菜、酪農、肉用牛、養豚、花卉など多くの農業生産活動が行われている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 12人（うち、認定7人、女性3人）
- (2) 推進委員数 17人（うち、認定4人）
- (3) 事務局体制 3人（専任2人、事務補助1人）

3 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

町内の大字ごとに農業委員と農地利用最適化推進委員とでチームをつくり、割り当てられた地域を巡回して利用状況を確認し、事務局へ報告を行った。



4 取組みの成果

農地パトロール及び利用意向調査を行い、前年度と比して大きく減少したものの、

- 1. 2ha 解消することができた。

5 課題と今後の方針等

耕作放棄地のさらなる解消のために、農地パトロールや利用意向調査を強化するとともに、今後は山林化が進み再生不能となっているような農地の非農地化を計画的に進めていく必要がある。